

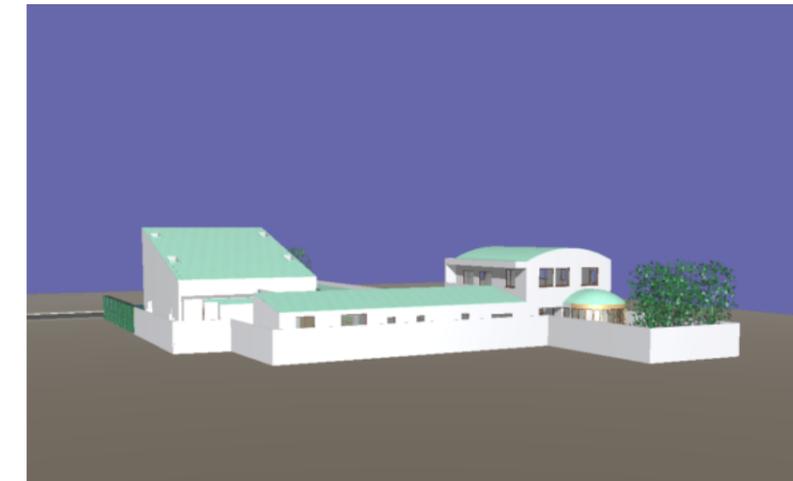
姫路市教会堂設計競技提案書



北外観俯瞰



北東外観俯瞰



南東外観

(設計主旨)

この地に教会堂が建設された当時の街並みは多分、戦前の昭和初期の鄙びたのどかな風景で、又、この教会堂もそれなりにとけ込んでいたものと思われます。初夏の街を散策し街並みの佇いを見るにつけ、平成の今、建て替えにあたり教会堂として街に望ましい形で加わり、道行く人々と交わるささやかな場を提供することが望ましいことであると考えました。その意思表示として教会活動の場面に応じ可変可能な開口を持つ礼拝堂と敷地の西側で接する歩道との間に広場の機能を持ったスペースを確保するため、計画上敷地の大きなウエイトを占める駐車場に着目しました。その駐車場の使用頻度が時間的に限定されているとのことでしたので、そのスペースを芝生で緑化することにし、空車時は舗装部分とで一体の広場を提供しました。その広場のアメニティを高めるため隣地境界部分に緑化フェンスを設けました。

又、今回の建設計画は予算の制約が決して小さくありません。鉄骨造や鉄筋コンクリート造の木造以外の構造形式（特に鉄筋コンクリート造）を採用した場合、工事コストのファンダメンタル（基幹）部分が高くつき予算超過となった場合、仕上げや設備等の見直しでは調整が困難と思われる。幸い礼拝堂スペースを除けば木造のスケールであり、構造形式として基本的に在来工法による木造を今回採用することにしました。耐久性、耐震性に配慮すれば他の構造形式のものに近づけることは十分可能です。

〈建築概要〉

敷地面積	806.00㎡		
建築面積	336.05㎡		
延べ床面積	396.70㎡	1階床面積	328.65㎡
(内、礼拝堂	245.82㎡、	牧師館	127.12㎡
		2階床面積	68.04㎡
		屋外用倉庫	10.13㎡、
		駐車場	13.63㎡)
構造	コンクリートベタ基礎木造平屋建一部2階建		

〈主要各室概要〉

一礼拝堂関連諸室一	
礼拝堂	床:フローリング [°] ;腰:木合板;壁:塗装;天井:塗装一部クロス
玄関及びロビー	床:長尺シート;壁:クロス;天井:クロス
多目的室	床:フローリング [°] ;壁:クロス;天井:クロス
黙想室	床:フローリング [°] ;壁:クロス;天井:クロス
事務室	床:タイル [°] ベ [°] ット;壁:クロス;天井:クロス
牧師室	床:タイル [°] ベ [°] ット;壁:クロス;天井:クロス
台所	床:長尺シート;壁:タイル;天井:塗装
便所	床:長尺シート;壁:タイル;天井:塗装
一牧師館関連一	
玄関及び廊下	床:タイル(土間)フローリング [°] ;壁:塗装;天井:クロス
居間食堂	床:フローリング [°] ;腰:木合板;壁:クロス;天井:クロス
台所	床:長尺シート;壁:タイル及びクロス;天井:不燃ボード [°]